

道徳科で学習する内容は、大きく分けて4つの視点(A~D)から捉え、それをさらに細かく分類整理しています。中学校では22の項目があり、それぞれを以下のようなキーワードで表されています。

A 主として自分自身に関すること

- (1) 自主、自律、自由と責任 (2) 節度、節制 (3) 向上心、個性の伸長
(4) 希望と勇気、克己と強い意志 (5) 真理の探究、創造

B 主として人との関わりに関すること

- (6) 思いやり、感謝 (7) 礼儀 (8) 友情、信頼 (9) 相互理解、寛容

C 主として集団や社会との関わりに関すること

- (10) 遵法精神、公德心 (11) 公正、公平、社会正義 (12) 社会参画、公共の精神
(13) 勤労 (14) 家族愛、家庭生活の充実 (15) よりよい学校生活、集団生活の充実
(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 (18) 国際理解、国際貢献

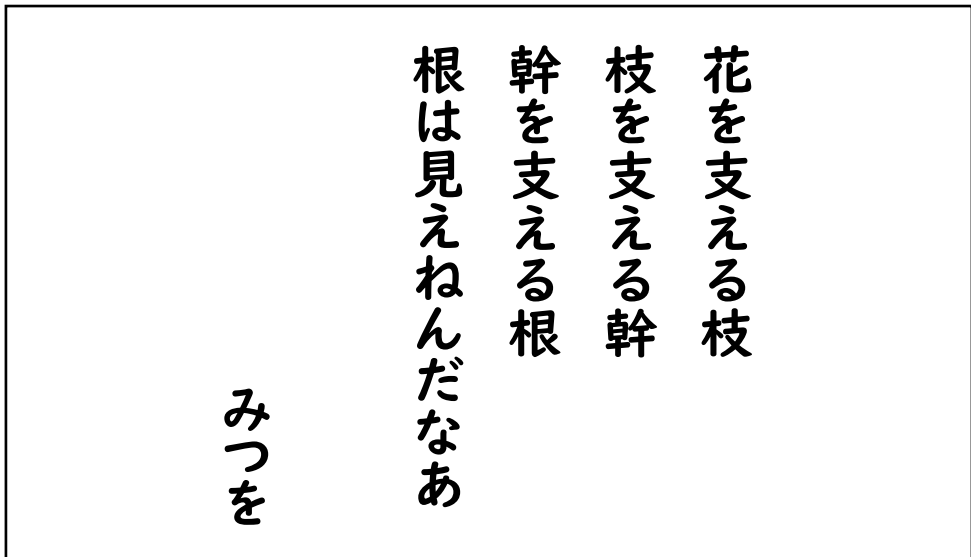
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

- (19) 生命の尊さ (20) 自然愛護 (21) 感動、畏敬の念 (22) よりよく生きる喜び

これらのキーワード(内容項目)は、人間として他者とよりよく生きていく上で学ぶことが必要と考えられる内容を短く表したものです。道徳の授業を通して、自分自身を振り返ったり、たくさんの考えや思いに触れたりして、心の成長に繋げてほしいと思っています。

道徳通信では、授業の様子や子どもたちが考えたこと、振り返りなどを紹介します。道徳の内容についてご家庭やホームで話し合い、心を育むきっかけとなってもらえたら幸いです。

最後に、相田みつをさんの詩を紹介します。



外からは見えませんが、木を支えているのは、地面の中の「根」です。大きな木であればあるほど、太い根が地面に広がっています。そして、たくさんの花を咲かせたり、実をつけたりします。人の心も同じように、外からは見えません。みなさんの心は、今どのくらい大きく育っていますか。

そして、

みなさんの人生に例えるなら、

見えない「根」とは何ですか。